

愛知県経済の現状と見通し<2024年6月>

1. 景気判断一覧表

部門	個別項目	水準評価 ※1	基調判断(前月比較)※2	
				詳細
総括判断	景気の現状			<p><b>緩やかに持ち直している</b></p> <p>経済活動の正常化に伴い、輸出や個人消費は持ち直しの動きがみられ、県内景気は緩やかに持ち直している。</p>
家計部門	個人消費			<p><b>回復に向けた動き</b></p> <p>百貨店販売額は31か月連続の前年比増加</p>
	雇用			<p><b>回復傾向が一服</b></p> <p>有効求人倍率は前月比横這い</p>
	住宅投資			<p><b>概ね横這いで推移している</b></p> <p>住宅着工戸数は4か月連続の前年比増加</p>
企業部門	企業活動			<p><b>足踏み</b></p> <p>鉱工業生産指数は3か月連続の前年比低下</p>
	企業倒産			<p><b>悪化しつつある</b></p> <p>企業倒産件数は4か月連続の前年比増加</p>
海外部門	輸出			<p><b>持ち直している</b></p> <p>名古屋港通関輸出金額は31か月連続の前年比増加</p>
公共部門	公共投資			<p><b>持ち直しの兆し</b></p> <p>公共工事請負金額は3か月ぶりの前年比減少</p>

当面の見通し	<p><b>緩やかに持ち直す見通し</b></p> <p>インバウンド需要の回復が期待され、景気は緩やかな持ち直しが続くと思われる一方、物価高や海外経済の減速による景気下押し圧力が強まる可能性も。</p>
--------	--

※1「水準評価」は、景気全体ならびに個別項目の水準について5段階で判断するもので、

:晴、:晴～曇、:曇、:曇～雨、:雨、を示す。

※2「基調判断(前月比較)」は、基調判断の表現を前月と比べたもので、

:上方修正、:据え置き、:下方修正を示す。

(例えば、「回復」→「減速」となれば下方修正、「回復」→「回復」なら据え置き、となる)

したがって、矢印は景気全体ならびに個別項目の方向感を示すものではない。

個別項目の見通しは、特に表記がない場合には先行き半年間程度の見通しを示す。

お問い合わせ先	三十三総研 調査部 内田
	電話: 059-354-7102
	Mail: 33ir@33bank.co.jp

2. 個別部門の動向:家計部門

個人消費	水準評価		⇒	詳細	回復に向けた動き
	基調判断	前月比較			

≪現状≫

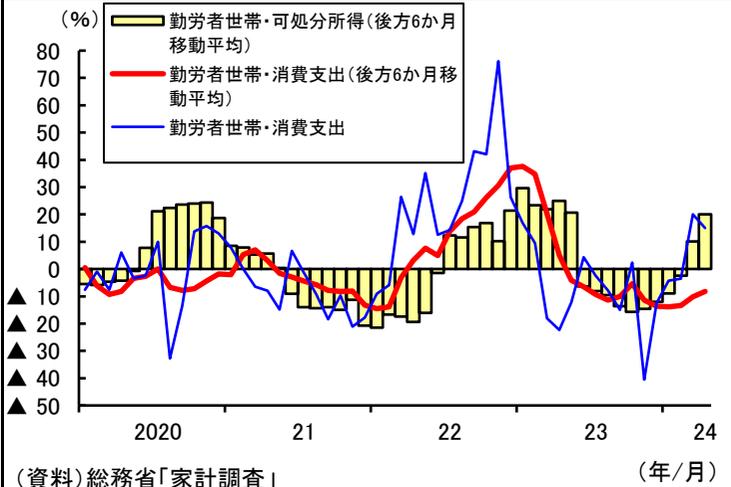
- 個人消費は、回復に向けた動き。
- 個人消費の動向を支出側からみると、4月の消費支出(勤労者世帯、名古屋市)は、前年比+15.0%と2か月連続の増加(図表1)。光熱・水道(同▲17.0%)や保健医療(同▲10.9%)などが減少したものの、教育(同+45.0%)、被服及び履物(同+49.8%)などが増加。
- 個人消費の動向を販売側からみると、4月の百貨店販売額は、前年比+6.9%と31か月連続の増加。インバウンドの回復、気温上昇による春物の売れ行きが好調だったことが要因。スーパー販売額は同±0.0%と横這い(図表2)。
- 5月の新車乗用車販売台数(含む軽乗用車)は、前年比+9.2%と5か月ぶりの増加(図表3)。内訳をみると、軽自動車(同▲5.3%)が6か月連続で減少した一方、普通車(同+17.8%)が2か月連続、小型車(同+11.5%)が5か月振りに増加し、全体を押し上げ。トヨタ自動車の販売が好調に推移したことに加え、ダイハツ工業の販売台数が前月に比べて減少幅が縮小したことが要因。

≪見通し≫

- インバウンド消費の増加が見込まれることに加え、雇用、所得環境が改善することで、持ち直しが続くことが期待される。一方、物価上昇の影響による節約志向の高まりから、持ち直しペースが鈍化する懸念も。

- ◆4月 勤労者世帯・消費支出(名古屋市)  
前年比+15.0%(2か月連続の増加)  
・教育:前年比+45.0%(4か月ぶりの増加)  
・被服及び履物:前年比+49.8%(5か月連続の増加)
- ◆4月 大型小売店販売額  
・百貨店:前年比+6.9%(31か月連続の増加)  
・スーパー:前年比±0.0%(横這い)
- ◆5月 新車乗用車販売台数(含む軽乗用車)  
20,354台 前年比+9.2%(5か月ぶりの増加)  
・普通車 10,426台  
前年比+17.8(2か月連続の増加)

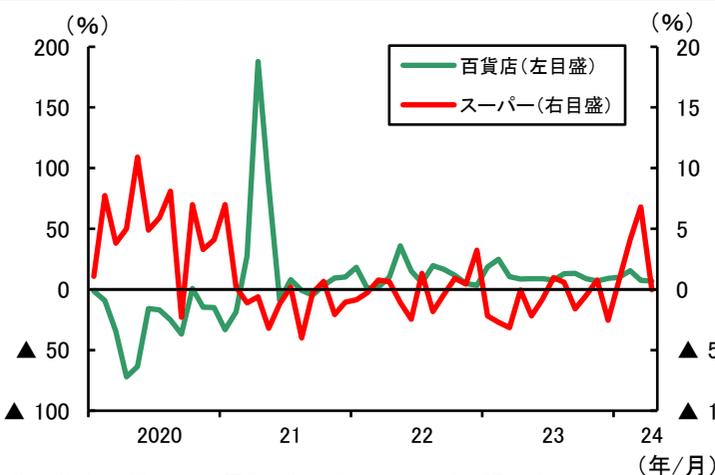
図表1 名古屋市・消費支出等<前年比>



(資料)総務省「家計調査」

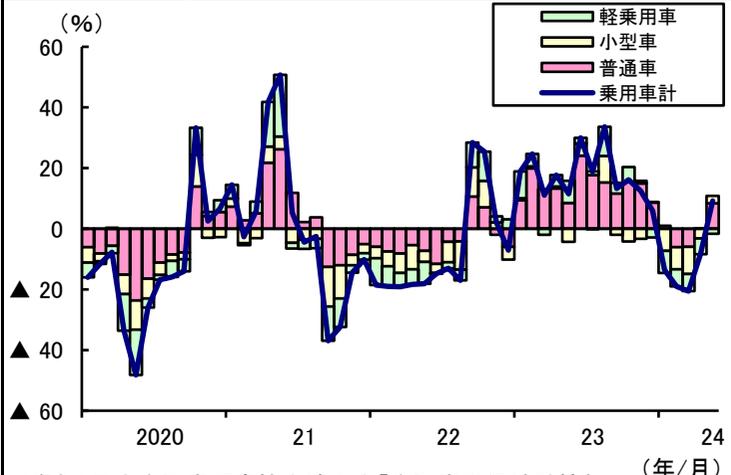
(年/月)

図表2 大型小売店販売額<前年比>



(資料)中部経済産業局「管内百貨店・スーパー販売概況」

図表3 新車乗用車販売台数<前年比>



(資料)日本自動車販売協会連合会「自動車登録統計情報」

(年/月)

雇用	水準評価		⇒	詳細	回復傾向が一服
	基調判断	前月比較			

《現状》

○雇用は、回復傾向が一服。  
 ○4月の雇用環境をみると、有効求人倍率は1.31倍（前月差±0.00ポイント）と横這い。新規求人倍率は2.42倍（同+0.01ポイント）と2か月連続の上昇（図表4）。新規求人数は前年比+5.9%と6か月ぶりの増加。  
 業種別にみると、運輸業、郵便業（同▲8.0%）、情報通信業（同▲1.6%）などが減少したものの、医療、福祉（同+10.4%）、宿泊業、飲食サービス業（同+21.5%）などが増加。

《見通し》

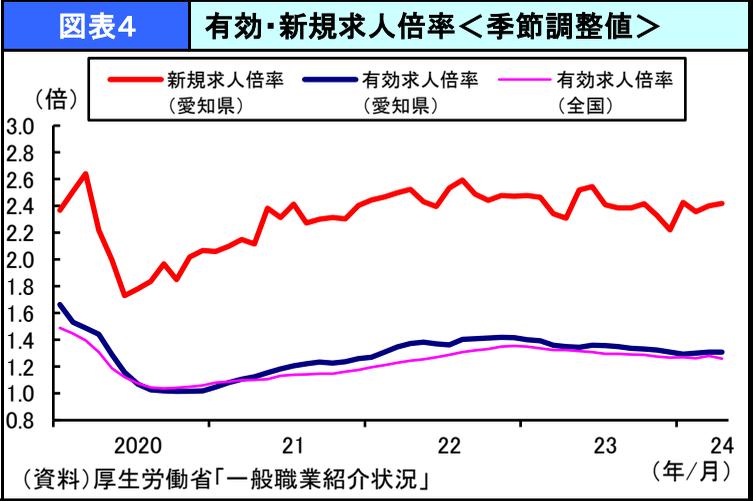
○原材料価格や人件費の高騰を受けて求人を控える動きが広がっており、雇用関連指標の悪化傾向が続く可能性も。一方で、インバウンドの回復や2024年問題への対応など、企業の人手不足感が強まっている側面も。

**◆4月 求人倍率(季節調整値)**

- 有効求人倍率:1.31倍  
前月差±0.00ポイント(横這い)
- 新規求人倍率:2.42倍  
前月差+0.01ポイント(2か月連続の上昇)

**◆4月 新規求人数(原数値)**

- 前年比 +5.9% (6か月ぶりの増加)



住宅投資	水準評価		↗	詳細	概ね横這いで推移している
	基調判断	前月比較			

《現状》

○住宅投資は、概ね横這いで推移している。  
 ○4月の住宅着工戸数は、前年比+17.7%と4か月連続の増加（図表5）。利用関係別にみると、持家（同+3.0%）が2か月連続、貸家（同+18.7%）、分譲マンション（同+60.2%）や分譲一戸建て（同+0.5%）の分譲住宅（同+23.7%）がそれぞれ4か月連続で増加。

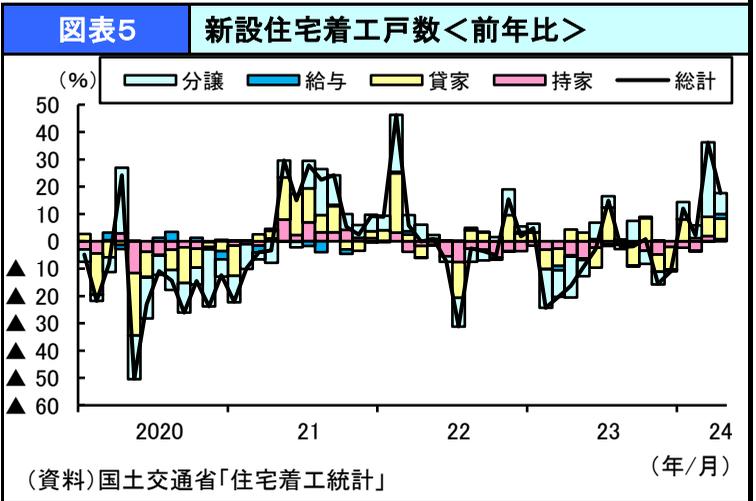
《見通し》

○先行きは、人件費や建築資材の高騰に伴う住宅価格の高止まりや、住宅ローン金利の上昇懸念が住宅投資の抑制要因となる可能性も。

**◆4月 住宅着工戸数**

5,143戸 前年比+17.7% (4か月連続の増加)

- 持家:1,218戸  
前年比+3.0% (2か月連続の増加)
- 貸家:2,066戸  
前年比+18.7% (4か月連続の増加)
- 分譲:1,762戸  
前年比+23.7% (4か月連続の増加)



### 3. 個別部門の動向:企業部門

企業活動	水準評価		↓	詳細	足踏み
	基調判断	前月比較			
<p> <b>《現状》</b>                      ○企業の生産活動は、足踏み。                      ○4月の鉱工業生産指数は、前年比▲4.6%と3か月連続の低下(図表6)。化学・石炭・石油(同+10.2%)が2か月連続で上昇した一方、電気機械(同▲21.3%)が10か月連続、輸送機械(同▲9.2%)が3か月連続、鉄鋼(同▲2.2%)が7か月ぶりの低下。                 </p> <p> <b>《見通し》</b>                      ○6月、トヨタ自動車など5社で自動車の量産に必要な「型式認定」の認証申請に関し不正が発覚。自動車産業の裾野は広く、生産や出荷への影響がどれほどの期間になるか注視する必要。                 </p>					
<p> <b>◆4月 鉱工業生産</b>                      前年比▲4.6%(3か月連続の低下)                 </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>輸送機械: 前年比▲9.2%(3か月連続の低下)</li> <li>鉄鋼: 前年比▲2.2%(7か月ぶりの低下)</li> <li>化学・石炭・石油: 前年比+10.2%(2か月連続の上昇)</li> <li>電気機械: 前年比▲21.3%(10か月連続の低下)</li> </ul>			<p> <b>図表6 鉱工業生産指数&lt;前年比&gt;</b> </p> <p>(資料)愛知県県民生活部統計課「愛知県鉱工業指数」 (年/月)</p>		

企業倒産	水準評価		⇒	詳細	悪化しつつある
	基調判断	前月比較			
<p> <b>《現状》</b>                      ○企業倒産は、悪化しつつある。                      ○5月の県下倒産状況(負債総額1,000万円以上)をみると、倒産件数は65件(前年比+23件)と4か月連続の増加。負債総額は90億円(同+47億円)と4か月連続の増加(図表7)。                 </p> <p> <b>《見通し》</b>                      ○原材料・エネルギー価格の高騰による仕入コストや光熱費の上昇、人手不足による人件費上昇などの業績圧迫要因に加え、コロナ融資の返済が本格化し、金融機関からの支援を得られず経営再建を断念する息切れ倒産が増加する可能性も。                 </p>					
<p> <b>◆5月 企業倒産</b>                      ・倒産件数:65件 前年比+23件(4か月連続の増加)                      ・負債総額:90億円 前年比+47億円(4か月連続の増加)                 </p>			<p> <b>図表7 倒産件数・負債総額&lt;前年比&gt;</b> </p> <p>(資料)㈱東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」 (注)負債総額1,000万円以上 (年/月)</p>		

4. 個別部門の動向:海外部門

輸出	水準評価		⇒	詳細	持ち直している
	基調判断	前月比較			
<p>◀現状▶                      ○輸出は、持ち直している。                      ○5月の名古屋港通関輸出額は、前年比+11.0%と31か月連続の増加(図表8)。仕向地別にみると、西欧向け(同▲9.1%)が2か月連続で減少した一方、アジア向け(同+11.3%)が3か月連続、米国向け(同+27.5%)が13か月連続で増加。品目別にみると、自動車(同+8.0%)などが増加。</p> <p>◀見通し▶                      ○景気回復が期待された中国向けが伸び悩んでいるほか、ウクライナや中東など海外情勢の影響による海外の景気減速見通しから、輸出全体の持ち直しペースは鈍化する見通し。</p>					
<p><b>◆5月 名古屋港通関輸出額</b>                      12,073億円 前年比+11.0%(31か月連続の増加)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア:前年比+11.3%(3か月連続の増加)</li> <li>・米国:前年比+27.5%(13か月連続の増加)</li> <li>・西欧:前年比▲9.1%(2か月連続の減少)</li> </ul>					
<p><b>図表8 名古屋港通関輸出額&lt;前年比&gt;</b></p> <p>(資料)名古屋税関「管内貿易概況」 (年/月)</p>					

5. 個別部門の動向:公共部門

公共投資	水準評価		⇒	詳細	持ち直しの兆し
	基調判断	前月比較			
<p>◀現状▶                      ○公共投資は、持ち直しの兆し。                      ○5月の公共工事請負状況をみると、請負件数は前年比▲0.2%と2か月ぶりの減少。請負金額は同▲22.1%と3か月ぶりの減少(図表9)。請負金額を発注者別にみると、国(同+58.6%)が増加したものの、市町村(同▲14.5%)や独立行政法人等(同▲26.2%)、県(同▲10.3%)が減少。</p> <p>◀見通し▶                      ○リニア中央新幹線開業を見据えた名古屋駅スーパーターミナル化、中部国際空港の将来構想など大型案件が見込まれ、公共投資は持ち直しに向かう見込み。</p>					
<p><b>◆5月 公共投資</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共工事請負件数:665件 前年比▲0.2%(2か月ぶりの減少)</li> <li>・公共工事請負金額:492億円 前年比+▲22.1%(3か月ぶりの減少)</li> </ul>					
<p><b>図表9 公共工事請負金額&lt;前年比&gt;</b></p> <p>(資料)東日本建設業保証㈱「愛知県内の前払金保証取扱高」 (年/月)</p>					

# 県内経済トピックス

(2024年5月)



## 1. 愛知県教育委員会が「人材バンク」を開設

- 5月1日、愛知県教育委員会は名古屋市を除く県内53市町村の公立中学校における部活動の外部指導者のなり手を登録し、学校などにつながるウェブサイト「あいち地域クラブ活動人材バンク」を開設。県内で横断的に仲介することで、市町村単独では難しい指導者の確保につながる狙いがある。
- 国は教員の負担軽減の一環として、休日の部活動運営を地域のクラブなどに任せる「地域移行」や、学校での活動を外部指導者に委ねる「地域連携」を進めている。都道府県単位の人材バンクの開設は茨城、千葉、山梨に続き4例目。
- 大村秀章知事は会見で「愛知は社会人の実業団やスポーツ活動に力を入れる企業が多いのでOBも多い。マッチングして活躍してもらえればありがたい」と述べた。

## 2. 愛知県が「愛知県・市町村人口問題対策検討会議」を設立

- 5月9日、愛知県は市町村と連携して人口減少対策を検討する「愛知県・市町村人口問題対策検討会議」を新たに立ち上げると発表。2005年から2020年にかけて、人口が10%以上減少した地区のある11市町村が中心となり、年に2～3回のペースで会議を行う。
- 参加する市町村は、岡崎市、豊田市、西尾市、新城市、田原市、愛西市、南知多町、美浜町、設楽町、東栄町、豊根村。2005年から2020年の人口減少率が10%以下でも参加を希望した半田市、津島市、刈谷市などの20市町はオブザーバーとして出席する。
- 愛知県が11市町村に聞き取りをし、課題として挙げた「農林水産業の振興」「地域交通の確保」「空き家の活用」の3テーマについてワーキンググループをつくって考える。大村秀章知事は会見で「市町村と協力し、人口問題に真正面からしっかり取り組む」と述べた。

## 3. 名古屋市と中日ドラゴンズ、バンテリンドームが包括連携協定を締結

- 5月25日、名古屋市はプロ野球中日ドラゴンズ、バンテリンドームナゴヤ(東区)の運営会社ナゴヤドームと、市民生活の向上や地域の活性化に取り組む包括連携協定を締結。連携項目は人権や子育て、スポーツ振興などが柱。
- 障害者が経済的な自立を目指して商品を製造している活動を紹介したり、ドームの大型ビジョンで行政情報を発信したりすることを新たに計画している。一方、球団、ドーム側も新型コロナウイルス禍で入場制限や感染症対策などの課題が持ち上がったのを機に、地元自治体との連携をさらに深める必要があると判断した。
- 名古屋市は今春、1945年に米軍の大規模空襲を受けた5月14日を「なごや平和の日」に制定。犠牲者の追悼や戦争体験の継承に球団とドームが協力することも盛り込んでいる。

(出典)中日新聞

## 景 気 指 標

三十三総研  
2024/6/28

## &lt;愛知県&gt;

(注) ( )内は前年同期(月)比 &lt; &gt;内は季節調整済前期(月)比

	2022 年	2023 年	2023年			2024年 1~3月	2024年				
			4~6月	7~9月	10~12月		1月	2月	3月	4月	5月
大型小売店販売額	( 2.8)	( 2.2)	( 1.6)	( 2.9)	( 1.8)	( 5.9)	( 3.4)	( 7.3)	( 7.0)	( 1.9)	
百貨店	( 10.6)	( 11.1)	( 8.8)	( 11.0)	( 8.3)	( 10.6)	( 9.8)	( 15.4)	( 7.4)	( 6.9)	
スーパー	( 0.1)	(▲ 1.1)	(▲ 1.0)	(±0.0)	(▲ 0.9)	( 4.0)	( 0.8)	( 4.1)	( 6.8)	( 0.0)	
新車登録・販売台数(台)	188,998 (▲ 10.3)	226,984 ( 20.1)	47,294 ( 23.1)	57,333 ( 22.5)	55,634 ( 15.1)	55,748 (▲ 16.4)	16,419 (▲ 9.1)	17,171 (▲ 18.5)	22,158 (▲ 19.7)	14,290 (▲ 4.4)	14,809 ( 15.8)
有効求人倍率(季調済)	1.37	1.38	1.35	1.35	1.32	1.30	1.29	1.30	1.31	1.31	
新規求人倍率(季調済)	2.48	2.48	2.46	2.39	2.32	2.39	2.43	2.36	2.40	2.42	
名目賃金指数(調査産業計)	( 2.1)	( 1.6)	( 3.3)	( 2.4)	( 0.3)	( 1.9)	( 3.8)	(▲ 0.1)	( 1.3)		
実質賃金指数(同)	(▲ 1.1)	(▲ 2.0)	(▲ 0.8)	(▲ 0.9)	(▲ 2.3)	(▲ 0.6)	( 1.9)	(▲ 3.0)	(▲ 1.6)		
所定外労働時間(同)	( 0.3)	(▲ 0.4)	( 1.4)	( 1.8)	(▲ 2.7)	(▲ 4.1)	(▲ 4.7)	(▲ 4.4)	(▲ 3.4)		
常用雇用指数(同)	(▲ 1.2)	(▲ 0.4)	(▲ 1.0)	(▲ 0.1)	( 0.8)	( 0.7)	( 0.7)	( 0.7)	( 0.8)		
新設住宅着工戸数(戸)	59,255 ( 0.5)	54,685 (▲ 7.7)	13,447 (▲ 9.6)	14,763 ( 3.1)	13,826 (▲ 8.9)	14,789 ( 16.9)	4,742 ( 11.9)	4,221 ( 2.1)	5,826 ( 36.1)	5,143 ( 17.7)	
鉱工業生産指数	(▲ 1.2) -	( 8.6) -	( 13.0) < 7.8>	( 7.8) <▲ 1.6>	( 9.0) < 1.8>	(▲ 3.2) <▲ 7.9>	( 3.6) <▲ 10.1>	(▲ 4.3) < 4.5>	(▲ 7.5) <▲ 3.8>	(▲ 4.6) < 0.8>	
企業倒産件数(件)	370	532	128	121	144	139	47	38	54	41	65
(前年同期(月)差)	( 6)	( 162)	( 37)	( 18)	( 32)	( 0)	(▲ 2)	( 1)	( 1)	( 1)	( 23)
民間非居住建築物着工床面積(千㎡)	3,689 ( 8.3)	3,527 (▲ 4.4)	1,119 (▲ 7.2)	673 (▲ 43.7)	1,208 ( 58.2)	547 ( 3.8)	140 ( 12.1)	271 ( 27.1)	136 (▲ 28.0)	354 (▲ 41.6)	
名古屋港 輸出(億円)	140,124 ( 12.3)	151,877 ( 8.4)	36,326 ( 7.5)	39,974 ( 12.4)	42,007 ( 9.3)	37,594 ( 12.0)	11,104 ( 22.6)	12,234 ( 8.4)	14,257 ( 7.7)	13,807 ( 11.2)	12,073 ( 11.0)
公共工事請負金額(億円)	5,303 ( 5.9)	5,502 ( 3.7)	2,333 ( 12.5)	1,441 (▲ 6.9)	825 ( 0.9)	1,251 ( 38.6)	264 ( 37.0)	252 (▲ 1.4)	735 ( 61.7)	1,596 ( 56.1)	492 (▲ 22.1)
消費者物価指数・除く生鮮(名古屋市)	( 2.5)	( 3.1)	( 3.4)	( 2.7)	( 2.1)	( 2.1)	( 1.5)	( 2.6)	( 2.3)	( 2.4)	( 2.4)

## &lt;東海3県(愛知・三重・岐阜)&gt;

	2022 年	2023 年	2023年			2024年 1~3月	2024年				
			4~6月	7~9月	10~12月		1月	2月	3月	4月	5月
大型小売店販売額(全店)	( 2.0)	( 1.6)	( 1.1)	( 2.6)	( 1.3)	( 5.0)	( 2.9)	( 6.0)	( 6.2)	( 1.3)	
同 (既存店)	( 1.7)	( 1.0)	( 0.3)	( 1.9)	( 0.9)	( 4.7)	( 2.2)	( 5.7)	( 6.4)	( 1.9)	
新設住宅着工戸数(戸)	80,112 (▲ 0.5)	73,459 (▲ 8.3)	18,039 (▲ 10.9)	20,059 (▲ 0.6)	18,199 (▲ 10.1)	18,832 ( 9.7)	6,012 ( 2.8)	5,626 ( 2.6)	7,194 ( 3.4)	6,643 ( 3.2)	
有効求人倍率(季調済)	1.43	1.39	1.39	1.38	1.36	1.34	1.34	1.34	1.35	1.34	
新規求人倍率(季調済)	2.52	2.39	2.43	2.38	2.33	2.38	2.44	2.33	2.38	2.39	
鉱工業生産指数	(▲ 2.4) -	( 3.6) -	( 6.9) < 4.3>	( 3.2) <▲ 0.9>	( 6.2) < 2.8>	(▲ 4.3) <▲ 9.4>	( 2.4) <▲ 14.1>	(▲ 5.5) < 0.7>	(▲ 8.3) < 4.9>	(▲ 1.3) < 1.7>	
企業倒産件数(件)	534	799	190	190	216	196	64	56	76	58	89
(前年同期(月)差)	(▲ 4)	( 265)	( 55)	( 48)	( 74)	(▲ 7)	(▲ 1)	(▲ 2)	(▲ 4)	( 5)	( 25)
域内外国貿易 純輸出(億円)	67,171	88,899	21,735	26,019	27,057	23,490	4,954	8,326	10,210	8,289	6,392
輸出(億円)	190,724 ( 12.3)	212,571 ( 11.5)	50,877 ( 10.9)	56,261 ( 15.4)	59,918 ( 22.9)	52,957 ( 16.4)	15,333 ( 27.5)	17,653 ( 14.0)	19,971 ( 10.9)	19,614 ( 14.9)	16,769 ( 10.5)
輸入(億円)	123,553 ( 41.9)	123,672 ( 0.1)	29,142 (▲ 3.8)	30,242 (▲ 11.6)	32,862 (▲ 4.0)	29,468 (▲ 6.2)	10,379 (▲ 4.6)	9,327 (▲ 2.6)	9,761 (▲ 11.0)	11,325 ( 11.1)	10,377 ( 10.9)